



堺市 PTA 協議会会長 就任挨拶

日頃より堺市 P T A 協議会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

書面総会において、植木聡前会長の後を引き継ぎ堺市 PTA 協議会の会長に就任いたしました吉原極と申します。前年度は理事を務めさせていただきました。今年度は会長という重責を担う立場に不安もありますが、精一杯務めたいと思います。何卒よろしくお願ひします。



さて、新型コロナウイルス感染症が未だ終息しない中、皆様におかれましては様々な制約のもと P T A 活動の運営に苦労を重ねておられることと存じます。未知なるウイルスが蔓延したことで、子どもたちを取り巻く環境も変化を余儀なくされ、私たち保護者の生活様式も一変しました。コロナ禍以前と今では価値観が変わったと多くの方が感じているかと存じます。私自身、今まで当たり前のように”集って、会って、話して”という活動が難しくなり子どもの孤立化また保護者の孤立化が一層進んでいるように思い憂っています。人と会って話す事がこんなに貴重な時間だったということを感じた次第です。コロナはもうなくならないかもしれません。なくならないのであれば、コロナは存在する前提で私たち PTA の活動もこの状況にあわせて変えていかないとはいけません。人は繋がって生きる生き物です。だから、特に孤立化は避けなければなりません。親という大木を決して孤立させてはいけません。そのためには学校を中心とした地域、保護者、教職員のみならず、そして子どもたちの輪が必要です。未曾有の事態に陥った今だからこそ”PTA の繋がる力”を再認識するべきではないでしょうか。今までの当たり前が当たり前ではない時代。今年、私たちは堺市の PTA であるという共通の時間を共に過ごします。大変な時代かもしれませんが、先行き不透明な時代かもしれませんが、はたまた薔薇色の時代がくるかもしれません。どんな状況になっても保護者である私たちが笑い、ひいては子どもたちの笑顔につながる良い環境を皆さんと構築したいと願っています。

末筆ではございますが、コロナ禍の中で堺市 PTA 協議会として何が出来るかを役員・評議員の皆様と共に考えていきたいとおもいます。まずは“見える堺市 P”を目指して取り込んで参ります。ご支援、ご協力をお願い申しあげ、ご挨拶とさせていただきます。

令和 3 年度 堺市 PTA 協議会 会長 吉原極